

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人
NPO緑の会
取手市小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791

新年のご挨拶
理事長 恒川敏江



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨春秋、東京オリピック決定、富士山および和食の世界遺産登録など明るいニュースが私達を喜ばせてくれました。

一方昨年一月、大勢の会員と共に沖縄を訪問し、比嘉先生の畑(青空宮殿)とサンシャインファームを見学させていただきました。

そのサンシャインファームが、七月、農業生産法人としてEM研究機構から分離独立し、EM技術を活用して、不耕起栽培の手法などを取り入れて省力化で多収穫、人も環境も健康にする未来型農業のモデル

となるべく働き始めました。

また、EM研究機構はモスクワに製造・販売拠点を設けロシアでの事業展開を本格化する、これは日本貿易振興機構(ジェトロ)の新興国進出個別支援サービスに沖縄県内で初めて採択された、との報道が十月二十五日付の沖縄タイムズで紹介されました。

年毎にEMが頼もしく世界に広がり活躍するニュースに接し、その世界の末端につながっている喜びと感謝の思いを改めて有難く感じております。

さて、私達の中心的事業であります「生ごみ堆肥化事業」は現在約千八百世帯で施設は処理能力限界に達しており、施設の増設に向けて頑張ろうと思っております。

「水質浄化事業」は地球環境共生ネットワークからご依頼の日本橋川浄化事業への協力、「霞ヶ浦をきれいにする会」への協力、藤代公民館への活性液の納入、六郷小学校での環境授業実施、井野小学校のプール清掃の為の活性液投入、相野谷川の浄化活動などを行い各方面から有難い評価を頂いております。

お一人のご協力の賜物です。さらに、収益事業でありますヤーコン茶などの販売も継続、拡大の方向で進めたく思っています。

EM団子作り等の身近な活動を通じて今年も元気に、楽しみながら各事業を進展させていきたいと考えております。歳かさが増すことに一日の時間の速さを感じておりますが、相田みつおさんの心に残る言葉があります。「生きているうち、働けるうち、日の暮れぬうち。」

本年も変わらない皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

写真で振り返る'2013



13.01.24 沖縄研修旅行

比嘉教授のプライベート農園(青空宮殿)で比嘉教授ご夫妻を囲んで



13.04.29 野田病院健康まつり



13.03.26 健康座談会



13.01.19 毎月第3土曜日の定例会



13.07.20 相野谷川で一斉団子投入



13.05.26 総会でツルネンマルティ氏の講演



13.06.10 EM団子づくり



13.10.28 井野小プールEM活性液投入



13.09.10 モミガラ採集



13.07.28 日本橋橋洗い



13.12.07 堆肥化作業



13.11.16 つつじ園祭に出店



13.10.02 カナルカフェ浄化活動

編集後記 今回も年末ジャンボは当たらなかった。ところで皆さんは交通事故で死ぬ確率はどれくらいか知っていますか。年間の死者数は4400人位なので総人口を割ると2万9千人に一人の割合になります。年末ジャンボの売り上げは2千億円ほどなので、1等に当たる確率は宝くじ1枚当たり6億6千万分の1の確率です。10枚買っても6千6百万分の1 誰か当たる人があるにはいるのですが。



13.12.21 楽しかった忘年会



13.11.16 賑わったネットワークフェア